

JIA長野県クラブ 20

社団法人 新日本建築家協会

1995. 10. 15



昨年に続いて行った第2回「本音で語ろう会」。参加した約30名のメンバーは活発な討議を行った。(7月31日松本市内で)



これからのJIAの役割？

副代表
上村保弘

国の景気浮揚政策の効果は薄く、建築界は低迷。我がJIAのメンバーも減少気味で、会費未納者は想像以上に増え続けています。

このような厳しい情勢の中ではありますが、なんとか、JIAの魅力同志で議論し、実行しながら歯止めをかけたいたいものです。

2年前の県クラブ総会の講演、JIA前会長、林昌二先生のお話を振り返ってみたいと思います。

発会から7年経過し、本格的活動をする時期にきているとし、「世界の建築界と比較・検討され、改善策を打つべきだ」と主張されました。特にAIAの方向として、世界経済の変革に対応すべき行動をしている訳で、日本も早急にアジア諸国にスタンスを明確にする様に言われました。すなわち、この事の議論もJIAとして、わかりやすく発表していくべきだと思います。

特にこの講演の中で印象に残った事は、「クライアントの認識改革についても取り組むべきだ」との指摘です。JIAでしか議論できない非常に難しいテーマだと思いますので、是非とも方向を示してほしいと思います。

当クラブにおいても、本音で語ろう会で発表された貴重な意見をリアルタイムに分析し、企画・行動しながら魅力のあるクラブになっていきたいものです。それぞれの役割を果たすことが現状を打破することにつながると思います。



気張らず楽しい集まりから…

副代表
松下重雄

JIA長野県クラブの体制が、須田代表に移りやっと軌道にのりはじめましたが、トロイカ方式ならぬ四人の副代表制となり、北・中・東・南信の各地域から一人づつが選出され代表をサポートすることになりました。私は南信担当ということになりますので改めましてよろしくお願い致します。

JIA設立以来、支部会員委員会のお手伝いをして参りましたが、昨年は会員委員長に加え副幹事長という大役を委嘱されやっとのことで責任を終え、この春後任にすべてをお願いして身軽になりました。この8年間に使ったお金と時間は膨大でしたが、それにもまして得るもの大きかったことを感謝しています。

日本中の多くの建築家とお知り合いになりましたが、建築家は個人の職能の故か、孤独で大きな社会を相手に頑張っています。そして、大小、強弱の差はありますが共通の悩みを抱えています。また、本部と支部、中央と地方の温度差も少し体感しました。ローカルでマイナーな私達からの情報発信は益々続けなければなりません。

長野県クラブが先ず、楽しく、気のおけない仲間づき合いのできる集まりを実現し、県クラブ同志が、さらには社会に向けて活動を広げましょう。

北信



村まちづくり研究委員として

久保田 三代

(有)久保田建築設計事務所

野沢温泉村を本拠地に、長野市までの40kmをカバーしております。現在、野沢温泉村で「村まちづくり研究委員会」の委員としてお手伝いをしておりますのでその報告をいたします。

委員会は平成4年に村役場の観光課が中心となり発足しました。というのも、当時、よく耳にしたのは、「近頃の村の街並みの変化は急激だ。伝統的な景観が失われ、悪い方向へ進んでいるようだ」「大型ビルの乱立や川の汚れなど、経済的な豊かさや、文化的で便利な生活、楽な生活を確保するのと引き換えに、我々は何か大切なものを失ってきてはいないだろうか」との巷の声でした。つまり、このままではいけない、という人間本来の自浄作用が働いたのでしょうか。その思いが委員会となったのです。

委員は商工会や旅館組合、民宿組合など各方面から約20名。私は建築士として参加しました。また、報告書、計画書の作成を専門家の都市環境研究所にお願いしました。

平成4年、5年の2か年で調査、研究、検討など10回に及ぶ会合を持ちました。そして、昨年春には村民に発表できる報告書ができあがったのです。

委員会の役割は、村民を代表して常に勉強を続け、美しく、楽しい景観を村民が理解できるよう、まちづくりに対する気持ちを盛り上げることです。

今年は、この報告書の指針を受けて先進地を視察。小布施町、山ノ内町渋温泉、飛騨高山と、景観や歴史を大切にしている街を歩き、そこに住んでいる人達に話を聞き勉強しました。

今年はまた、我々委員会が村の中の楽しい場所、美しい場所や今後のお手本となるような場所を選定し、表彰することにしてあります。我々委員が実際に歩きますので勉強になりますし、村民一人一人がまちづくりの大切さを理解してくれるものと思います。将来が楽しみです。

豊富な経験

確かな技術で

責任施工

(総合建築防水)



坂田工業株式会社

長野市稲里町下氷鉋蒲田167-4

TEL 0262-86-3751(代)

FAX 0262-86-4450

東信



人生の縮図「小諸ふれ愛ウォーク」

甘利 享一

甘利享一建築設計舎

毎年9月。第1週土曜の夕方から日曜の正午にかけて、小諸の布引から長野の善光寺まで約60kmの道のりをひたすら歩く「小諸ふれ愛ウォーク」というイベントがある。「牛に引かれて善光寺まわり」というソフト面からのまちづくり、伝説からのまちづくりをめざして小諸青年会議所が中心となって考え出した企画である。

今年で6回目を数え、参加者は1回目の500名から現在は5,000名に達するという人気のある大会として成長してきている。

私も企画立案からこの事業に参画しており、準備期間を含めて今年で8年目を迎えた。最初の2年間は実際に自分たちで歩き、体験を通してこの企画が素晴らしいものになると実感した。

60kmという距離は過酷である。布引から善光寺まで仲間と共に歩ききったときは何ともいえない感動を味わった。3年目からは市民イベントとしてスタート。口コミで広がり、6年目には5,000名の申し込みで10日かからないほどになった。運営スタッフは500名。このスタッフのほとんどが善光寺をめざして歩いたことのある経験者。このことが大会の内容を充実させている一つでもある。

参加者に対して自然に「ガンバレ」という言葉が出てくる。スタッフが、牛にかわり善光寺まで導いてくれる。道中の暗い場所には灯籠が延々と道案内。戸倉ではとん汁。千曲川沿いの堤防では朝日が。そして善光寺に着くと、ソバと運営スタッフがお出迎え。

参加者とスタッフが一体となり、自己の限界に挑戦する。ただ歩き続けるという単純な事が人を主役にし、いくつものストーリーを生む。

ゴールに涙を流しながら入ってくる親子、仲間たち。それを見て涙ぐむスタッフ等。早い人で6時間。遅い人では18時間に及ぶ。このドラマは人生の縮図を見ているような気がする。

一歩一歩どんな歩き方をするのか、だれと歩くのか。途中でやめたいと思う心との葛藤でもある。しかし、一歩一歩の積み重ねがゴールという終着点に辿り着くのである。

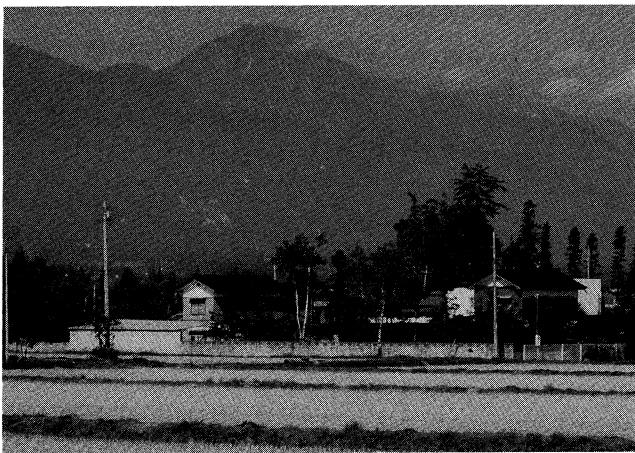
中信



日々の生活と景観

武井辰夫
(有)武井建築設計事務所

以前、豊科町に仕事場があった頃。毎日梓川村から堀金村方向にむかって大型農道を走っていました。朝日を浴びた常念岳をバックに、黄金色の水田、道路わきに咲くコスモスの群れ、そして有明の松林など。実に絵になる風景でした。松本市に移転してその道を通わなくなっ



てから何年も立つ今日。それらの風景がまだ強く印象に残っているのは何故でしょうか。

この間には多くの風景を見、また体験しているはずなのに。今、同じ道を走って思うことは、そこに生活を感じるからではないでしょうか。集落の屋根峰、カントリーエレベーターの巨大なタンク。若かりし頃よく行ったなつかしいスキー場の看板等々……。

仕事のうえでも近年は景観ブーム。多数の条例や規制、協定が制定され、人々の関心の高さを伺い知ることができます。私にも少しの成功と多くの失敗があり、大いに自己反省をしておりますが、過大な計画は施主に大きな負担となり、決して良い結果になりません。しかし、ほんの少しの負担に対して人々は、成長し、良い結果が得られるのではないのでしょうか。

景観とは絵ハガキのような風景ではなく、人々の毎日の生活と努力により形成されていくものではないかと思えます。

床を創る

TAJIMA

株式会社 タジマ

長野県松本市南松本 1丁目13-14
 松本ノーサンビル4F
 TEL 0263 (27) 1841 〒390
 FAX 0263 (26) 8390

南信



“建築家資格制度”に思う

篠田尚幸
NAO設計室

村野藤吾が文化勲章を受けるにあたって、村野個人に対しての賞であったなら、辞退したであろうという話を、原田順先生から聞いた。大江健三郎は「ノーベル賞を受けて文化勲章を受けぬ理由」を94年10月15日付中日新聞で述べている。建築家と作家の違いがこの文化勲章の受け止め方によく現れている。個人に対してならば辞退したであろう賞をあえて受賞した村野藤吾の人間の大きさが見える。そして、建築家の社会的立場もここに示されていると思われる。

言葉の概念をここで云々するつもりはないが、私は建築家とはひとりの人間の思想をも含めた「生きざま」そのものをいうのではないかと思う。今井兼次は「建築とヒューマニティ」の中で建築・建築家について実にわかりやすく明快に述べている。そしてこの概念が「建築家」であるとするならば、資格とか認定といった制度を検討する事がいかに意味のない、むなしい作業であるかがはっきりしてくる。人の生き方、思想に○×を付ける事はできるはずないのだから。時間は大切にしたい。

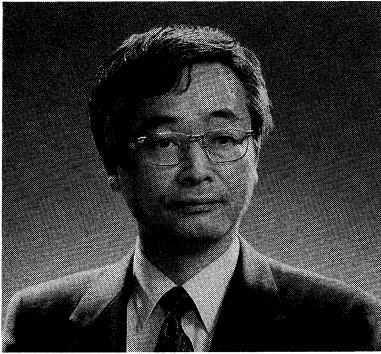
JIAの存在価値はどこにあるのか。その最も大切な部分のひとつに、宮脇壇氏がBulletinで云っておられた「建築家たちが、良い建築を作るために顔つきあわせて語り合う場」。その場のひとつにこの県クラブの会報があるんじゃないかと思う。

「どんなに意地をはっても、人はたった独りでは生きてゆけない。だが人の夢や志は、誰に身替りしてもらわなくてもいい。他者とともに営む生活と孤立無援の思惟との交差の仕方、定め方、それが思想というものの原点である。さて歩まねばならぬ——」高橋和巳のこの言葉は、二十数年を経た今も私の中に生きている。

アルミサッシュ、カーテンウォール、
 型鋼カーテンウォールの総合メーカー

昭和鋼機株式会社

〒174 東京都板橋区前野町6丁目1番10号
 TEL 03-3969-1171
 FAX 03-3960-1409



JIA大会'95軽井沢によせて

JIA長野県クラブ代表 須田 考 雄

紅葉も一際鮮やかに、爽やかな軽井沢に皆様方をお迎えし、JIA大会が開催されますことを、地元長野県クラブと致しまして心より歓迎いたします。

大会のテーマ『建築家とは……』を受け各種シンポジウムが開かれますが、社会一般の今日的な問題として、環境、景観、自然保護、廃棄物、省エネルギー等多くのことに問題提起がなされております。

我々は、このようなことに大きな関与と影響力を持つ立場にあり、一人ひとりが関心を深め、幅広い視野で物事を捕らえ、人々の為になること、奉仕の精神を職能に反映させることにより、大きな成果を上げることができ、これはまた、建築家としての責務でもあると思います。

簡単に長野県クラブの紹介をさせていただきます。

現在、正会員83名、賛助会員115社（専業設計事務所37社、メーカー等78社）で構成され、地理的な特徴から、北信、東信、中信、南信と各地区より副代表を選出し地区の取りまとめをお願いしています。

主な会議は、

正副代表会、理事会、各種委員会等があり、多くの会員は、自然保護、環境、景観、保存問題等幅広く関心を持ち、独自の活動も熱心に行っております。

県クラブ独自の主な事業等は、

- ・次世代を担う若い人の養成として高校生、大学生を対象とした長野県学生卒業設計コンクールの開催
- ・高校建築科生徒を対象に会員を社会人講師として派遣
- ・会員相互の交流と、親睦を兼ね様々な問題等を語り合う本音で語ろう会
- ・家造りのポイント、県クラブ会員の紹介を兼ねクライアントの参考となる冊子として『建築家カタログ』（仮称）発行の研究
- ・新技術や工法を学ぶ技術交流会
- ・会員及び会員外を対象とした文化講演会
- ・官公庁、建築関係他団体との共同事業等への参加（すまいとまちづくりフェア、景観フォーラムなど）
- ・会報の発行（出来る限りタイムリーに、会員の意見等自由に投稿していただき、気軽に読んでいただける会報として、19号より地区欄を設ける等刷新し、発行も年4回に増やしました）

また、南信地区では、若い所員が独自の活動として、町並みウォッチング、観察等の活動を自発的に始めており、将来への期待と力強さを感じさせます。

最後になりましたが、この大会が会員各位の友好を深め、成果の多い大会となりますよう期待いたします。

正 会 員

- | | | |
|--|---|--|
| 足利 憲孝 (株) 宮下設計アトリエ
甘利 享一 (株) 甘利享一建築設計舎
荒井 茂明 (株) 宮本忠長建築設計事務所
新井 典夫 (有) A & A 構造研究所
荒井 洋 H A L 一級建築設計室
新井 優 (有) みすゞ設計
飯島 和夫 (株) 飯島建築設計事務所
池田 豊雄 (株) 桂建築設計事務所
池田 瑞夫 池田建築工房
出澤 潔 出澤潔建築設計事務所
市瀬 清志 (株) 桂建築設計事務所
伊藤 公績 (株) 伊藤建築設計事務所
伊藤 清文 (株) 鈴木建築設計事務所
伊藤 宗春 (株) 伊藤建築設計事務所
大木 島清穂 (有) 西沢構造設計事務所
小笠原 光彦 (株) 県建築設計事務所
沖村 陽一 (株) 環境計画
荻原 白 (株) 宮本忠長建築設計事務所
片桐 一幸 かたぎり建築設計事務所
片倉 隆幸 片倉隆幸建築研究室
上村 保弘 (株) カミムラ建築研究室
川上 恵一 (有) かわかみ建築設計室
北澤 隆重 (株) 伊藤建築設計事務所
岸 清司 K A D 岸設計事務所
木下 光 環境プランニング
君島 弘章 君島弘章建築設計事務所
久保 隆夫 (株) 宮本忠長建築設計事務所
久保田 正博 (有) みすゞ設計 | 久保田 三代 (有) 久保田建築設計事務所
熊谷 實 (株) 桂建築設計事務所
倉橋 英太郎 (株) 倉橋英太郎建築設計事務所
小菅 健 小菅建築設計事務所
小林 隆茂 小林隆茂建築設計事務所
小松 蒼一 小松一級建築士事務所
斉藤 治 (有) 斉藤建築デザイン室
斉藤 裕 建築研究室 夢香房
坂本 三郎 (株) 坂本建築事務所
櫻井 武久 (株) 櫻井武久建築設計研究所
佐藤 友治 計画工房都市建築設計事務所
篠田 論 (株) 宮本忠長建築設計事務所
篠田 尚幸 N A O 設計室
篠田 博文 (株) マルタ設計長野事務所
城取 義直 (株) 城取建築設計事務所
須田 考雄 (株) アーキ・クリエーション
関 邦則 (有) 関建築十まち研究室
武井 辰夫 (有) 武井建築設計事務所
高橋 重徳 (株) ローカル建築設計室
竹花 彰男 彰建築設計事務所
竹村 伸司 (有) 竹村建築設計事務所
児野 登 (株) アーキディック環境計画研究所
茅野 芽九六 (株) 伊藤建築設計事務所
土屋 長命 (株) シティープラン
中澤 栄二 (株) エービーシー一級建築士事務所
西沢 潔 (有) 西沢構造設計事務所
西沢 広智 (株) 宮本忠長建築設計事務所
西澤 嘉雄 (株) 宮本忠長建築設計事務所 | 西田 浩一 (株) 嶺建築設計事務所
根石 忠生 (株) 鈴木建築設計事務所
羽生田 八郎 羽生田建築設計事務所
場々 洋介 (株) フジ設計
原 逸穂 (株) カミムラ建築研究室
萬羽 増雄 ばんば建築研究室
細川 義雄 細川義雄建築設計事務所
増田 祐一 (株) アルス設計
町田 憲一 (株) 宮本忠長建築設計事務所
松下 重雄 (有) みすゞ設計
丸山 八寿信 (株) 伊藤建築設計事務所
丸山 幸弘 館設計工房
三浦 憲 (株) 三浦設計事務所
御子柴 進 (株) 建築研究所フォーラム
溝端 利一 (株) 宮本忠長建築設計事務所
南島 宗市 (株) 桂建築設計事務所
三村 哲夫 英建築設計事務所
宮澤 秀治 宮澤秀治建築空間研究所
宮下 治 A I 設計事務所
宮本 忠長 (株) 宮本忠長建築設計事務所
宮本 仁夫 (株) 宮本忠長建築設計事務所
柳沢 博行 (有) 渡辺建築設計事務所
山岸 信蔵 (株) 橋建築長野事務所
山住 博信 A・E・D 建築研究所
湯本 弘行 (株) 誠設計事務所
依田 政司 (株) 依田建築設計事務所
渡部 袈裟己 (有) 渡辺建築設計事務所 |
|--|---|--|

賛助会員(専門設計事務所)

- | | | |
|---|--|---|
| (株) アーキ・クリエーション
(株) 県建築設計事務所
甘利 享一 建築設計舎
(株) アルス設計
(株) 飯島建築設計事務所
池田 建築工房
出澤 潔 建築設計事務所
(株) 伊藤建築設計事務所
(有) A & A 構造研究所
(株) エービーシー一級建築士事務所 | (株) 桂建築設計事務所
片倉 隆幸 建築研究室
(株) カミムラ建築研究室
(有) かわかみ建築設計室
(有) 久保田建築設計事務所
(株) 倉橋英太郎建築設計事務所
計画工房都市建築設計事務所
(株) 建築研究所フォーラム
小松 一級建築士事務所
(有) 斉藤建築デザイン室 | (株) 坂本建築事務所
(株) 櫻井武久建築設計研究所
(株) シティープラン
(株) 城取建築設計事務所
(株) 鈴木建築設計事務所
(有) 関建築十まち研究室
(有) 武井建築設計事務所
(有) 西沢構造設計事務所
羽生田 建築設計事務所
(株) マルタ設計長野事務所 |
|---|--|---|

賛助会員(メーカー・代理店)

- | | | |
|--|--|--|
| (株) 五十鈴
(株) イトーキ長野支店
岩崎電気(株)長野営業所
岩月瓦工業(株)
(株) 岩野商会
(株) 越前屋
(株) 岡村製作所長野支店
(株) 角藤長野支店
鐘淵化学工業(株)東京支社
(株) 川島織物販売長野営業所
川鉄建材工業(株)長野営業所
関東地質(株)長野営業所
(株) 栗本鉄工所
(株) クリーン長野
(株) 甲州屋
坂田工業(株)
坂井塗装工業(株)
サンウェーブ工業(株)信越支店
サンエイ(株)
三協アルミニウム工業(株)長野支店 | (株) サンゲツ長野営業所
(株) シノダ
(株) シマコ
昭化和鋼機(株)
信越化学工業(株)長野営業所
信越アステック(株)長野営業所
(有) 水研設備設計事務所
炭平コーポレーション(株)
積水化成製品工業(株)建材事業本部
東京第一建材グループ
(株) 創和システム
第一公害プラント(株)
(有) 泰成電機工業
ダイダン(株)長野営業所
大同コンクリート工業(株)名古屋営業所
(株) ダイレックス新潟営業所
(株) タキザワ・ホームینگ
(株) タジマ長野営業所
田島ルーフィング(株)大宮営業所
立川ブラインド工業(株)松本営業所 | 立山アルミニウム工業(株)長野営業所
立山アルミニウム工業(株)松本営業所
中信電機(株)長野支店
中部電力(株)長野支店
土屋工業(株)
東海コンクリート工業(株)長野営業所
(株) 東京クマヒラ長野営業所
東京チトセ(株)長野営業所
東京理工器(株)
東陶機器(株)長野営業所
東洋プレコン工業(株)
トステム(株)ビル甲信越支店
(株) トライア
(株) ナガイ
長野外装工業(株)
(株) ナカジマ
(株) 長野コクヨ
長野三菱電機機器販売(株)
(株) 日創建材
日本屋陶器瓦協業組合 |
|--|--|--|

クラブインサイド

第2回「本音で語る会」 松下重雄

昨年12月に行われた「本音で語る会」が好評で、本年も早目にということで去る7月31日、上村副代表のお骨折りにより夜景に浮かびあがる松本城に手が届く程の「第一会館」にて約30名が参加して行われました。

メインテーマは「長野県クラブをより楽しくするには？」となっていました。恒例によりテーマを事前に話し合った結果①文化講演会、②『信州建築家カタログ』（仮称）について、テーブル討議の後、フリートークをすることになりました。（その一部をお伝えします）

(1)文化講演会

- ・他団体（事協・士会）にはない独自性を！
- ・対論形式だと面白くなる
- ・学習するもの他、JIAメンバーが主役となり身近な地域の問題を発信したら？
- ・クライアント側に講師になってもらったら？
- ・地域社会をターゲットに！

(2)『信州建築家カタログ』（仮称）

- ・基本的には出す方向に賛成！
- ・社会ニーズに合ったものを（しかし、媚びない）
- ・「建築家って何を考えている？」自己確認を！！
- ・設計料も表示したい・手引書になるものを！
- ・我々のやっている活動を分かりやすく伝えたい！等々

これに先立ち、飯田所員委員会の活発な活動報告が行われたこと、初めて参加した伊藤公績さん、荒井洋さんがこの席上正式にJIAに加入される宣言をされたこと、引き続き行われた「納涼パーティー」が大変盛会であったこと、次回は忘年会と併催されることを付け加えます。

9月21日クラブ理事会から 川上 恵一

今年度4回目の理事会は気分をかえて、長野市飯綱高原にある日建設計の厚生施設を借りて開いた。会議後にサステナブルデザイン連続セミナー・見学会を睨んでの設定である。会は主に▷JIA大会'95軽井沢の参加▷（仮称）信州建築家カタログ▷県との建築懇談会の実状と提案等で、活発な意見が出された。議題の内容にもよると思うが、時間が足りず、進行係の出澤副代表は大変である。いつも問題提起と議論に終わってしまうのは、通り一遍の会議とは違って良しとしたものであろうが……。

そこに共通して流れているものは須田代表を中心に、県クラブの連帯感とお互いの質の向上、その裏付けとしての職能の確立、又社会への呼びかけなど、プロの建築家としての使命感ともいえるものであろう。特に世間に対して開かれた、役に立つ職能集団として認知してもらう努力が必要であり、そんな取り組みをやはり長野県クラブメンバー全員で一緒にやって行きたいものである。

— 新入会員紹介 —

正会員

竹花彰男（彰建築設計事務所） 佐久市
荒井 洋（HAL一級建築設計室）松本市
伊藤公績（㈱伊藤建築設計事務所）松本市

クラブアウトサイド

JIAサステナブルデザインセミナー・見学会

西田 浩一

標記の第2回は、冷やっとして澄んだ空気の中、9月21日に長野市の飯綱高原「日建飯綱山荘」で行われました。

見学会は日建設計の社内コンペで当選された浦一也先生の設計コンセプトの説明から始められました。この中で、国立公園の自然保護官との厳しいやりとりから“自然の中で建てさせてもらう”という意識を改めて強く持ったという話が印象的でした。

建物を実際に見学して省エネルギーというよりも自然の恩恵を積極的に受けようという意識を充分くみとることができました。

討論会は宮本忠長先生の司会で浦、野沢正光、松下重雄の各氏をパネラーとして「生き続けられる建築の条件」という主題のもと、熱のこもったやりとりが行われ予定の時間を一時間も延長する程でした。

「建築はそれぞれの部分にも主張をもたなければならない」との意見もありました。また、建築の自然との関わり方について参加者の中からの意見で「自然に生きる生物達の生態を勉強することも必要」との提案は大変参考になりました。

一番印象に残ったのは、各先生方の、あるいは我々の、建築のいろいろな失敗事例を公表すべきだ、との意見でした。

活気ある討論のうちに終わりましたが、このようなセミナーは継続して行われる事に意義があり、そこに参加する事の大切さを実感致しました。

（追記 宮本忠長先生は当山荘の日建設計社内コンペの審査を担当されたそうです。）



お知らせ 11月3日から長野地域の市外局番が3ケタになるのに伴い、事務局の電話・FAXも次の通り変わります。 TEL 026(232)3897 FAX 026(232)5303



編集人 関 邦則
発行人 須田考雄
発行所 JIA長野県クラブ
長野市大字南長野字
宮東426-1
長野県建築士会館内
TEL 0262(32)3897
FAX 0262(32)5303
作成 新建新聞社